

育されていて家庭同様に愛育され、自給飼料主体の飼養管理で家畜の体質も健全であり、経済性に富んだ畜産であった。そして、糞尿は厩堆肥として土地還元され、一毛作を毎年続けても地力は低下せず、米、野菜、果物等本当に味が良かつたと思う。

現在は多頭飼育政策により、省力管理粗飼料の自給率低下、購入飼料依存と設備投資増高といった經營形態となり、その結果、畜産公害、経営の貧困、家畜の体质弱体化に伴なう事故多発と耐用年数の短縮等を招き、加えて、殆んどの農家が無畜化し、有機物質の土地還元の無い田畠は地力低下の一途を辿り、農畜産は悪循環を強いられている。昔日の有畜農業が懐ばれてならない。

畜産の歩みと農業共済の使命

以上、今昔を対比して愚見を述べたが、昔と今では国際諸要素も複雑であり、日本経済の中での農政、そして農家の生活環境に伴う経済志向等が全く変化しており、昔のやり方をそのまま取り入れることは許されない時代である。が、日本農業の基盤である美しい国土を守り、そして健全な農畜産を発展させるためには、昔の良い面を素直に取り入れた施策を講すべきではないだろうか。

即ち、各関係機関のご指導を得て指導基準を樹て、農業共済連家支臨床研修所を軸にして、県下各家畜診療所地区内の

農畜産の諸状況が戦前、戦後、現在へと変貌する中で、共済制度もその変化に對応して何回とも改善されてきたが、今後更に畜産農家に密着した保険需要の高い制度にするべく、関係者のご意見、ご要望を充分賜わるよう懇望することも、各位のご健勝で岡山県畜産發展のためにご奮闘下さるよう切望して愚稿を閉じ
②については現在生産共済が検討され
ている。

えたが、発足当時（昭和三年）の農畜産諸情況に思いを巡らすとき、あまりにも変貌した現在の様相に唖然とする思いである。

当時は食糧不足のせいもあつたにしろ、田はすべて耕され、水稻・麦の二毛作で一面青田であった。

現在日本は食糧自給率がどんどん低下し、一朝有事の場合危機に陥る状況下なのに、水田利用再編対策も片手落ちで徹底せず、水田は処々侵蝕されて荒地化し、裏作は殆んどなく、新幹線から眺める田畠は延々と枯れ切った風景である。

及び関係団体の窓口は大体二元化されており、農家と技術者の接触も密着しており、両者の契りが厚かった。

現在、行政も多岐に亘り、団体もそれぞれ専門部門に細分化された結果、連絡提携は希薄となり、運営指導方針も日々であり、農家も戸惑っている感がある。各団体等は貴重な技術者を雇傭しているが、その業務が団体間で重複したり、また隙間を生じ、大局的にみて誠に勿体ない不経済な体制となり、延いては畜産の進展を阻害しているともいえる。

糸乱れぬ指導を行ない、氣力ある畜産農家の輪を広げることが急務であり、一九八〇年代に岡山県の畜産を、かつて全国に誇った畜産県に戻したいものだ。

農業共済としてもこのような情勢下において、本県畜産の支えとしての使命を果すべく、対策を樹て、邁進して行きたい。

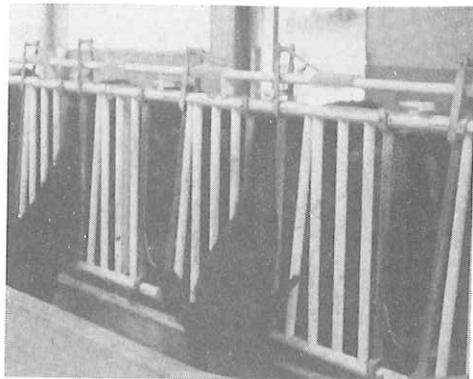
まず最近の家畜事故発生内容をみると、こゝ数年間、死亡・廃用事故（乳牛）の第一位は関節炎、第二位は乳房炎、第三位は産後起立不能症となっており、この三

小規模和牛の通年サイレージに

FRPミニミニサイロ



仕様	
型式	MMS-2
容量	2 m ³
全高	1,600 mm
直径	1,630 mm
本体	高サ 1,350 mm
	上径 1,430 mm
	底径 1,350 mm
重量	50 kg



- | | |
|---|---|
| <p>■水封気密方式で良質サイレージ</p> <p>■半永久時に使用可</p> <p>他機種 ミニサイロ 5M³, 8M³, 10M³
タワーサイロ 20~150M³</p> | <p>■牛が飼料を採食すると同時に自動的に
けい留できる。</p> <p>■多頭飼育・省力管理の導入が可能</p> <p>■繁殖和牛・育成牛に最適</p> |
|---|---|

製造元

中国化工株式会社

倉敷市水江1575 TEL (0864) 65-3555

酪農畜産機総合商社

発 売 元

本社 岡山市福成2-14-23 (0862) 63-1221^代
落合営業所 真庭郡落合町上市瀬165-2 (08675) 2-3364
金川営業所 御津郡御津町金川337 (08672) 4-0143
津山営業所 津山市志戸部712 (08682) 2-1561

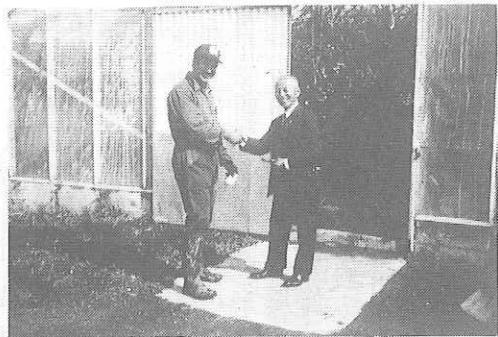
四月号 もくじ		畜産の歩みと農業共励会の使命		井上 皎	
卷頭言		親善のかけはし (2)		シェアミルキング制度に思う	
畜産の歩みと農業共励会の使命		昭和五八年度畜産物	牧野 勉	昭和五八年度畜産物	井上 皎
		政策価格決定	：	政策価格決定	：
畜産の歩みと農業共励会の使命		結果	：	結果	：
		(1)	：	(1)	：
畜産の歩みと農業共励会の使命		昭和五七年の生産費調査	：	昭和五七年の生産費調査	：
			：		：
畜産の歩みと農業共励会の使命		第六回スマーリングショウ開催	：	第六回スマーリングショウ開催	：
			：		：
畜産の歩みと農業共励会の使命		甘くなった良薬	堤 兼利	甘くなった良薬	堤 兼利
		：	：	：	：
畜産の歩みと農業共励会の使命		日中友好一二日間の旅	花尾貞治	日中友好一二日間の旅	花尾貞治
		：	：	：	：
畜産の歩みと農業共励会の使命		第七回岡山県サイレージ共励会	審査講評	第七回岡山県サイレージ共励会	審査講評
		内田仙一	：	内田仙一	：
畜産の歩みと農業共励会の使命		白石太郎	：	白石太郎	：
		：	：	：	：
畜産の歩みと農業共励会の使命		16	13	9	8
		7	6	5	4
畜産の歩みと農業共励会の使命					2
					1



コベット牧場を訪ねて

親善のか

(ニュージーランド
シェアミルキ



ディビーズ牧場を訪ねて

けはし (2)

ンドに招かれて)
ング制度に思う

長船町 牧野 勉一

しかしこの牧場経営はシェアミルキング制度をどのように活用しているかは残念ながら充分確認できませんでした。親子一代続きの経営で、すでに御両親は別居しており、私達を温く迎えて載き感激しましたが、親と子の場合も、当然シェアミルキンギング制度は成立するわけであり、特にニュージーランドでは遺産相続税率は九五%と高く、そのためシェアミルキンギング制度を活用している例も多いとのことです。

現在ニュージーランド大使館を通じて、資料を(法律まで)取りまとめ中であり、充分検討した上で改めて御報告することにします。

土地の貸し借りと、完全共同経営

このシェアミルキンギング制度は国の法律で定められ農場主と作業者すなわち貸し方と、借り方にはそれぞれ責任分担が明確になっています。作業者(借り方)の売上額の配分割合は一九%、三五%

コベット牧場の場合、頭数は三分の一ですが、一頭当たりの乳量は一倍（六、三〇〇kg）と立派な成績です。総てが自給体制であり、モデル的適正規模であると思いました。更に私も検討を加えたいと思います。

お頼い
度に対する御意見を振って岡山県菫産会
までお寄せ頂きますようお願いします。

た。つまり五〇%協定の場合は、牛乳販売代金と仔牛の販売代金を貸し方に五〇%、借り方にも五〇%配分します。但し双方の責任分担は、貸し方は土地の提供、牛舎、住宅、肥料、農業等の生産資材の提供で、一方借り方は、家畜、農機具、労働力などを提供することとしています。このように五〇%協定は完全に共同経営であります。なお、維持管理費についても、それぞれ責任分担は明確に定められ、借り方の責任分担は、農場全般について維持補修の責任を持たねばなりません。例えば牧柵、建物、水道など補修の場合には、その材料費は農場主が負担するが、労働費はすべて作業者の負担となります。この様にして、今ではディビーズ氏の農場経営も安定し、その内容を尋ねると、総生産量は乳脂量七万七、〇〇〇kg（一頭当たり乳脂量一四〇kg）とだけしか答えられませんでした。日算して見ると、年間収入は六・七、〇〇〇万円位いで

このようにニュージーランドでは、農用地の流動化対策として、「シェアミルギング制度」は、大きな役割りを果しており、所得の配分方式にまで進んでいます。しかしこのような制度もこのままでは、わが国に適用はできませんが、「日本型シェアミルギング制度」の検討こそ、若い者が希望をもって農業が営める環境づくりのために大切なことだと考えます。年とともに老齢化して行く兼業農家のこれからたためにも、中核農家づくりのためにも、この日本型シェアミルギング制度の構想を役立てたいと願っています。

岡山畜産便り御讃読の皆様の御意見をお聴きして、「日本型シェアミルギング制度」づくりをめざし、国及び県の農政にも御検討をお願いして、九〇年代、国際的に伸びて行く日本農業のあすを築くために、今こそ先進国農業を見習うべきではないでしょうか。

核的專業農家となる心構えで、仲間とともに伸びてきました。しかしながら地域の農業構造は、相互共栄の中にも更に兼業化が進み、農用地の流動化は一向に進まず、集団的土地利用は更に困難となりました。

意欲ある若者が
専業農家になれる道
招かれてニュージーランド農業の実体に触れてみると、農地を持たない若者で

して「日本型シェアミルキング制度」はどうあるべきかを考えるために、一戸の経営農家を紹介致します。

大規模専業酪農家

デイベーズ牧場を訪ねて

見渡す限りの緑の毛氈、その上にくつきり牛の群、そのようなのどかなハミルトン市郊外にある牧場に案内されました。農場主はシエリルとブルース・デイベーズの若い夫婦で、二八一ヘクタール、九

した。これからは国のシェアミルギング制度に示された利益配分率（この牧場は農場と施設住宅付きで五〇%の配分契約である。）で貸し方に支払いながら、安定期がでないと大へん喜んでいました。

最も優れた適正規模

専業酪農家を訪ねて

パームストンノース郊外に、農業改良指導官に案内されて酪農を専業とするコベット牧場を訪ねました。この牧場はニュ

農業に意欲ざるあれは、專業農家に成れる道が開かれているではありませんか。その代表的制度がシェアミルギング制度（分益酪農方式）です。すなはち貸し手と借り手との間で行なわれている作業の受託者が、やがて経営の受託へと進み、專業農家に進むのです。

訪問中に二戸の專業酪農経営農家を訪ねた私は、最初は理解に苦しみました。が、実際農家に入つて見ると、土地所有者である農場主（親の場合はも有り得る）と、小作人（シェアミルカー）との間で行なわれている、一種の作業受託であり、利益配分方式でもあります。この制度は、ニュージーランドでは、すでに国の法律で定められ、弁護士、経理士制度までが大きな支え役となり、農業者の二割がこの制度を活かしています。

これから日本農業の課題として地域の核となる集団営農、中核農家つくりが

二回画に分かれた草地と、それと五五〇頭育成牛二〇〇頭を飼育しておりました。奥さんは八年前岡山県児島郡興陽高校に一ヵ年留学され、日本語の上手な方でした。農作業は御主人と一人の若い研修生（やがて専業農家になる人）と若い夫婦（共同経営）ともいえる。今では使用人であるが搾乳場の一角に住み、利益配分を受けている）の五人の構成でした。ブルースさんは大学を出て、六年間今 の農場で前の場主（貸し方）の経営を手伝つて二〇〇〇万円程積み立てました。（日給は一萬円と高い国である）、そして国のミルキング制度により、前農場主より經營全部を借り受け、二〇〇〇万円を基金とし、更に国の農業銀行からも一時は借り入れをして、隣地の荒蕪地四五ヘクタールと、乳牛導入をしました。そして現 在一二年になりますが借入金だけはすでになんと返済して、前に述べた

昭和五八年度畜産物政策価格決定

昭和五八年度畜産物政策価格が三月三一日決定し告示された。政策価格関連対策は以下のとおり。

肉用牛対策

一、肉用子牛価格安定対策

最近における肉用子牛価格の低落にか

二、肉用子牛の生産奨励措置

肉用子牛価格の低落状況にかんがみ、

58年度畜産物政策価格

区分		58年度		57年度		(キロ当たり)	
加	原	保証価格	90円07銭	89円37銭	0.78%		
工	乳	基準取引価格	68円36銭	64円80銭	5.49%		
		限度数量	215万トン	193万トン	11.39%		
豚	肉	安定上位価格	780円	780円	0%		
	皮	中心価格	689円65銭	689円65銭	0%		
	ば	安定基準価格	600円	600円	0%		
牛	肉	去和牛	1,820円	1,820円	0%		
	(中)	中心価格	1,608円25銭	1,608円25銭	0%		
		安定基準価格	1,400円	1,400円	0%		
去	そ	安定上位価格	1,455円	1,455円	0%		
那	勢	中心価格	1,285円34銭	1,285円34銭	0%		
牛	他	安定基準価格	1,120円	1,120円	0%		

指定乳製品の58年度安定指標価格

区分	58年度価格	57年度価格	58/57
バタ-(1キロ当たり)	1,302円	1,253円	3.91%
脱脂粉乳(25キロ当たり)	13,140円	12,670円	3.70%
全脂加糖練乳(24.5キロ当たり)	8,950円	8,750円	2.28%
脱脂加糖練乳(25.5キロ当たり)	7,960円	7,760円	2.57%

昭和五七年の生産費調査結果(1)

農林水産省統計情報部は、昭和五七年の家畜生産物の生産費調査結果を発表した。
調査結果の概要是次のとおりである。

二、生産費

昭和五七年(調査期間五六六年七月)五年六月の生乳一〇〇kg当たり生産費は九・三七九円(対前年比二・二%増)となつた。

生産費を構成する主要な費目をみると、飼料費が五三・六%、労働費が二七・三%、乳牛償却費が七・〇%で、この三品目で費用合計の八七・九%を占めている。

二、収益性
搾乳牛一頭当たりの粗収益は五九万七・九六円で、粗収益から物販費等を控除した所得は、一八万五・四二〇円となつてゐる。

生産費を構成する主要な費目は、もと畜産費が五一・三%、飼料費が三三・九%、労働費が九・六%で、この三費目で九四・八%を占めている。

一、生産費

昭和五七年(調査期間五六六年八月至五月)七月の生産費は生体一〇〇kg当たり一・二万九・一一円(一頭当たり七七万二・七三円)であった。

生産費を構成する主な費目は、もと畜産費が五九・五五円(一頭当たり所得は一万九・八%)減少した。一頭当たり所得は一万九

一、生産費

昭和五七年(調査期間五六六年八月至五月)七月の生産費は子豚一頭当たり二・八万八・二二四円であった。生産費を構成する

表-2 肥育牛生産費

区分	生体100kg当たり生産費	1頭当たり		
		生産費	販売価格	所得
肉専用牛	120,911円	77,273円	719,554円	19,219円
乳	75,539	50,222	499,553	33,005

一、生産費

昭和五七年(調査期間五六六年七月)五年六月の生産費は子豚一頭当たり二・八万八・二二四円であった。

表-3 子豚生産費

区分	子豚1頭当たり		繁殖めす1頭当たり	
	生産費	販売価格	生産費	所得
平均	21,885	22,107	188,214	53,357
1~2頭	24,552	23,242	—	61,003
3~5頭	24,280	22,046	—	48,558
6~9頭	20,421	19,799	—	51,722
10頭以上	20,800	22,408	—	53,689

一、生産費

昭和五七年(調査期間五六六年七月)五年六月の生産費は子豚一頭当たり二・八万八・二二四円であった。

主な費目は、飼料費が子豚一頭当たり一万・八八五円で費用合計の五六・四%、労働費が五・一%で、一頭当たり所得は三万三・〇円(七・六%)を占めている。

二、収益性

繁殖めす豚一頭当たりの粗収益は二・八万八・二二四円で、前年に比べ四・四一八円(七・六%)の減少であった。所得は五万五円(五・七%)減少した。所得は五万五円(五・七%)の減少であった。

二、収益性
一頭当たり粗収益は四九万九・五五三円(対前年比三・二%増)で、一頭当たり所得は三万三・〇円である。

二、収益性
一頭当たり粗収益は一・二万九・五五円(一頭当たり所得は一万九・八%)減少した。一頭当たり所得は一万九

一、生産費

昭和五七年(調査期間五六六年七月)五年六月の生産費は子豚一頭当たり二・八万八・二二四円であった。

で生肉を供給する肉用牛経済肥育普及事業、業、国産牛絶肉の品質等特別販売事業、食肉消費改善普及事業等を拡充実施するほか、新たに食肉の規格取引等を推進する。二、その他消費対策として「肉の日」の催しに食肉販売店が特別販売を行えるよう畜産振興事業団から輸入牛肉を完渡すとともに輸入牛肉販売指定店制度を拡充する。

酪農対策

一、飲用牛乳市場正常化対策

牛乳の用途別計画生産を的確に推進し

飲用牛乳の流通の混乱を改善するため、

生産者団体が必要変動に伴う飲用牛乳の廉売を防止するよう加工向けて

の差額につきとも補償を行ふ場合に所要の助成を行つとともに、市乳地域で発生する余乳の的確かつ地域集中的な処理加工を行う事業及び集中処理モデル施設の整備につき助成を行ふ。

二、飲用牛乳消費拡大対策

幼稚園児等の牛乳飲用の促進その他飲用牛乳の消費拡大のための対策を引き続

用牛乳の消費拡大のための対策を引き続

三、酪農経営負債整理資金の融通

五六年度から行わされている酪農経営負

債整理資金について、五八年度において引き続き所要の貸付けを行つため利子補

給基金の拡充等を行つ。

四、肉用牛生産振興特別対策

肉用牛生産の振興と合理化を図るために

コストの低い肉用牛畜舎の開発等の生産

合理化技術の開発、アドバイザーズグル

ープによる経営近代化促進指導等の諸活

動を推進する。

五、資金対策の強化

肉用牛経営の健全な発達に資するため

関係制度資金(農業近代化資金、農林漁

業金融公庫資金等)の制度改正の速やか

な実現を期し、その的確な実施に努める。

食肉流通消費改善対策

一、食肉の流通改善と消費者価格の安定

コストの牛肉生産を行い、合理的な価格

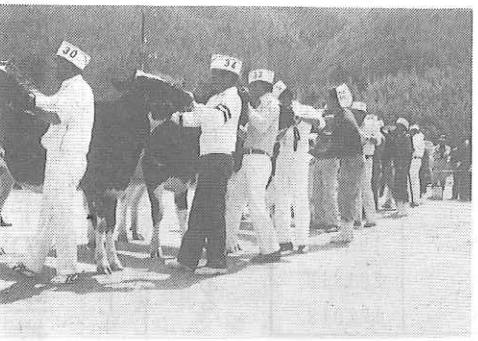
を図るため、肥育期間の短縮等により低

コストの牛肉生産を行い、合理的な価格

第六回岡山県スプリングショウ開催

第六回岡山県スプリングショウが、乳牛改良協議会の主催で、四月六日、津市一方の経済連津山家畜市場で開催された。

今回は、鳥取、島根、広島からの出品もあり、県内各地からの選抜牛とあわせて一〇三頭の出品があった。



審査は日本ホルスタイン登録協会の桑島審査員が当たり、未経産牛のグランドチャンピオンに真庭郡久世町、矢谷拓士さんの「エキスパート・ユニーク・ホープ号」が、経産牛のグランドチャンピオ

ンには島取県、田中泰彦さんの「シーダー・ローン・マーキス・リーダー号」が選ばれた。また、経産牛の県チャンピオンには邑久郡長船町、石原正一郎さんの「ロンダシップ・ジョーハナ・クリスター

ン・チルダ号」が決まった。
また、デーリークリーンには吉田郡加茂町、仁木道子さん、邑久郡邑久町、岡惠子さん、笠岡市吉田、井上次美子さんが選ばれ、共進会に花を添えた。

なお、各部のチャンピオンは次のとおり。
第6回岡山県スプリングショウチャンピオン賞受賞牛

部別	名 号	生年月日 (年令)	出 品 者	備 考
1	エキスパート コピーライト リフレクション	57. 8. 8 (8)	真庭・久世 矢谷 拓士	未 経
2	ワイエフクリスタン ホームステット アール	57. 1. 6 (15)	真庭・落合 吉田 美幸	未 経
3	ワイエフ プライオリティー クリストン	56. 8. 4 (20)	"	未 経
4	エキスパート ユニーク ホープ	56. 3. 3 (25)	真庭・久世 矢谷 拓士	未 グランドチャンピオン
5	ハーピストファーム フレーミング スター	54. 9. 8 (3-7)	苦田・鏡野 広田 靖彦	経 産
6	ジーダー ローン マーキス リーダー	52. 7. 9 (5-9)	鳥取県 田中 泰彦	経 グランドチャンピオン
7	ロンダシップ ジョーハナ クリストン チルダ	53. 11. 30 (4-5)	邑久・長船 石原正一郎	乳 器
8	カロロー エクセレンシー エンペラー マラソン エーカースランブラー モーゼー マラソン ランブラー ジョディ	54. 7. 26 (3-9) 54. 4. 26 (4-0) 51. 6. 28 (6-5)	真庭・久世 森田 一文	自家生産牛群

肉の表示を統一

岡山県食肉公正取引協議会発足

消費者が安心して買える正しい肉の表示を、県下の肉屋さんが集まって、四月一八日、岡山県食肉公正取引協議会が発足した。各店によってまちまちだった肉の表示を統一し、さらに種類や内容を明確にしようというもので、加盟店は「適正表示」のステッカーを掲げ、違反店は厳しく罰する方針。

県下の食肉小売店（スーパー、百貨店などを含む）は約一、二〇〇店あるが、当面の加盟店は六百店で出発し、三年後には全店が加盟店を目指す。

これらの店では牛、豚、鶏など食肉の種類はもちろん、ロース、モモなど肉の部位、牛すき焼き用、牛ひき肉などを明確に表示する。また輸入肉の場合は生産国を明記。「和牛肉」と表示されるものは黒毛・褐毛和種などに限り、「松阪肉」「神戸肉」などの表示はその地で生産されたものに限って明記するとしている。



最新刊のご案内

畜産経営・自己診断の手順と方法

(A5判 約270頁) ¥1,500- ¥250

主な内容

- 酪農経営 (玉川大学教授 石井幹)
- 1.自己診断には何が必要か
- 2.損益計算書・財務諸表の読み方
- 3.診断の仕方
- 肉用牛肥育経営 (中央畜産会指導部長 栗原幸一)
- 1.経営記帳と計数整理の要点
- 2.収益性・生産性・安全性の診断分析
- 3.診断分析の手順・方法とその要点
- 養豚経営 (日本獣医畜産大学教授 村用富夫)

1.自己診断と記帳 2.技術診断・利益管理診断・財務診断・採算性診断、生産性と投資効率の診断 3.経営外部環境の診断

養鶏 (採卵鶏) 経営 (兵庫県農業総合センター主任専門技術員 伊藤孝)

1.記録と記録 2.生産性・収益性・財務分析 3.自己診断にもとづく経営の展開方向

お申し込みは岡山県畜産会まで

私達が子供の頃は、「良薬は口に苦しむ」との格言を教えられ、苦い薬ほど良く効くものと信じこんで服用していたものだが、近頃は、甘い薬や糖衣錠など、飲みやすくしてある良薬が数多く出回るようになり、この格言も余り引用しにくくなっている。

教師の指導や教育のあり方、子供に対する親の誤解の有無などが社会問題として取りあげられたり、又新聞紙上をよく賑わっているが、私達の職場のまわりでも、これに似た事例をよく耳にしたり体験することがある。

職場の同僚や後輩に対する助言、忠告、指導等の必要なことは云うまでもないけど、そのことがかえって相手に誤解され、反感をもたらしたり、又、巻き添えを食つたりすることを懸念する気持ちがある。先立ち、身近かな問題に対しても、「さわらぬ神にたたりなし」で、放任主義、日和見主義を決めこみ、なりゆきにまかせてしまっている場合も少くないようだと思つ。

そしてこのような人が、時として、おおらかで、抱擁力のある人、温厚な人として評価されることもあるようである。眞に友情の厚い人や、部下想いの上司なら、誤解されたり事件に巻きこまれるかも知れないことを恐れて、助言、指導を躊躇する筈がないと想つただが……。このことは、上司に進言する場合にも云えることであり、又、農業を指導する

場合にもあてはまることがある。新規補助事業がはじまったときなど、「補助率が高い」、「機械化で合理化につながる」などの理由で、ややもすれば、安易に取り組もうとする傾向があるが、これに目を向けず、事業計画の縦密な吟味、修正などの指導に、日和見主義的な対応をしてしまうなかつたか。お互い反省させらることはなかつたか。お互い反省させらることのよつに思つ。

予断を許さないきびしい農業情勢のなかで、今日程慎重な事業計画の策定が求められ、又、適切な助言、指導を必要とする時期は、かつてなかつたようと思う。たとえ苦言やきびしい助言内容として露解されることがあろうとも、誠意と眞実、そして忍耐、づよい説得があれば、必ず理解して貰える日が来るものと思うし、いたずらに良薬ぶつた苦言を呈したり、傍観者的な批判は慎しむべきことである。そこで、自分たちが抱いていた誤解が、とにかく日和見主義を決めこんだり、放任主義で頬張りすることだけは、お互に理解ある態度を示しながら、甘えへりともしない夜を過ごしたりし日を追憶し、甘くなった良薬に時代の流れを感じ、それ、助言、指導のむづかしさを感じながらも、良き先輩、指導者に恵まれていたことに感謝しつつ、日々反省しているこの頃である。

日中友好一二日間の旅 (その二)

岡山県畜産会

会長 花尾省治

昭和二年頃、北京の農業関係の各機関（主に畜産）で活躍されていた主な方々をあげますと、事務関係では後に農林省事務次官でご功績を残された湯川東畑さんのお一方、北京大学には後の東大教授の佐々木清綱博士、また、後の農林省課長の秋元真一郎、小林正芳、占野靖生さんのお三方、そして、後の厚生省課長の阿曾村千春さん等、数多くの技術人材が転出され、中国農業振興に尽されました。

ところで中国の家畜、家禽は、大体在来種といつても過言ではありません。在来種には強健で、粗食に耐え、耐病性もあるというすぐれた特性がありますが、能力面では劣る点が大きいといえます。当時、中国に足を踏み入れて一番驚いたことは、家畜、家禽の各種伝染病の常 在地であることでした。私のいた華北産業科学研究所（産研という）の中にも、家畜防疫部が設けられ、病気の研究、予防液の製造に従事していました。

中国の種鶏改良のため、日本から改良鶏（白レグ、ロードアイランド、横斑ブリマスロック）を運び入れましたが、あ

る時、試験用に在来鶏を求め、日本鶏舎の隣接場所に入れたところ、たちまち日本鶏は全滅に近い憂き目を見た思い出があります。また、白系ロシア人の乳牛舎から、考えもしなかった牛疫の発生があり、急遽防疫班を組織し、北京、天津両都市の牛乳業者の全乳牛の予防接種によって、何とか終息させることができました。当時の乳牛はシンメンタール、ブラウンスイス、ジャージー種等でした。現在はホルスタイン系に傾いたといえるようです。

中国人の中でも特に漢民族は、豚（中國では猪と書く）肉を最も好んで食卓に供します。一方家禽では鴨（鴨子）、いわゆるペキンダックを珍味としています。両者が肉の大閑といえるでしょう。今回の旅行で北京和平門鳴鴨子専門店に案内され、珍らしい鴨料理にありつき、舌鼓をうち、遠き日の鴨料理を思い出すことができました。

中国在来豚は脂の付きが少なく、赤肉豚で、強健性、粗食に耐え、そのうえ多産率という特性は抜群といえます。かつて飼料学者の斎藤道雄博士が中国在来

豚と日本豚との違いについて、中国在来豚は日本豚ではとても消化できそうにないものでも、飼料として消化吸収する消化力があることを指摘されていました。

今日の中国豚は、かなり改良が進められおり、最近の栗原氏の中国豚観察記事によりますと、北京和平人民公社の給

与飼料として、濃厚飼料（トウモロコシ、フスマ、大麦等）、野菜クズ、ルーサン、そして特に水草が重要な飼料源だと述べています。

中国農業では、從来困っていたことは、肥料と燃料と肥料の三つの競合でした。

例えばコウリヤン稈を飼料として家畜に与えるか、それとも燃料にするか、あるいは厩肥として土地還元するか、三者とも不足のための競合でした。今日化学肥料製造も行なわれていますが、日本のよう多くを求められず、使用量も少なく、現状は厩肥増産に全力投入されています。

北支の土壤は微細な黄土で、アルカリ性です。種子の発芽をはかるには播種後沈庄を必要としました。沈庄は地下水が土の上まであがってくるのを防ぐためです。日本と違い土地がアルカリ性のため、ルーサン、スードングラス等の牧草がよくできました。

今日の中国は食糧増産に懸命な努力をしていますが、人口増に追いつかず、現在は穀物輸入国で、ソ連、日本に次いで世界第二位の輸入国となっています。輸入先はアメリカ、フランス、オーストラ

リア等ですが、輸入量は一、〇〇〇～一、五〇〇万トンとされています。

私たちが河南省に入りました時、トウモロコシの収穫が行なわれており、農家の

人が人海戦術で刈り取り運搬作業を行っているの出会いました。男女二人位で、輪車にうず高く積まれたトウモロコシを運んでいました。北京郊外で見た農家の荷運搬は二輪馬車のものが多く、馬は二三頭立てで、人は馬車の前に乗り、馬車に頼っています。

「多労多得」多く働いた者が多くもうることによって意欲を起こさせる努力が払われてきました。しかし現在の農村の近いところは人力、遠いところは馬車に頼っています。

生活は、まだまだ耐え状態にあるといえましょう。

「多労多得」多く働いた者が多くもうることによって意欲を起こせる努力が払われてきました。しかし現在の農村の近いところは人力、遠いところは馬車に頼っています。

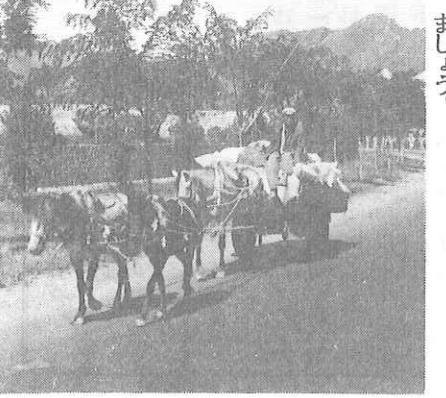
生活は、まだまだ耐え状態にあるといえましょう。

「多労多得」多く働いた者が多くもうることによって意欲を起こせる努力が払われてきました。しかし現在の農村の近いところは人力、遠いところは馬車に頼っています。

生活は、まだまだ耐え状態にあるといえましょう。

「多労多得」多く働いた者が多くもうることによって意欲を起こせる努力が払われてきました。しかし現在の農村の近いところは人力、遠いところは馬車に頼っています。

- 8 -



はじめに

本会は岡山県下に、いわゆる氣密サイロが約一〇〇基導入された時点の昭和五年に氣密サイロサイレージ共励会として第一回が開催されました。その後このサイロの数は急速に伸び、現在では約一〇〇基に近づきつたり、その型、大きさ、材質そしてその性能はますます多様化の傾向にあります。またこれらを利用する農家も当初は主に酪農家であります。近時は肉用部門での伸びが顕著でしたが、近時は肉用部門での伸びが顕著であります。さらに材料草生産におきましても、第一回当時はイタリアンライグラスなどグラス類が中心であります。近時はホルクロップトウモロコシに代表されるように、高位生産、高エネルギー生産作物にその比重が移りつつあります。

このように本共励会がスタートした頃に比べまして状況は大きく変化し、まさに今昔の感があります。しかし高品質粗飼料生産の必要性はますます增大していきます。すなわち高級乳牛の基礎飼料として、また経済的な肉用牛生産のための飼料として高品質高栄養サイレージの重要性は将来ますます強まっていくものと考えられます。以上のような状勢の中で、第七回の共励会が引き続き開催され、県下で生産されているサイレージが一堂に集められ、その品質と調製技術について検討し、改善

の方向について研鑽を積む機会を得られましたことは、まさに有意義なことと存じます。本会を繼續して設営・運営されました関係各機関、ならびにこれに応えて積極的に参加されました生産者の各位に対し敬意を表します。

審査の基準と方法

審査はおおむね過去六回のそれと同じく品質および技術について実施しました。すなわち品質はフリーケ法により、技術審査は表一に示す筆者の基準に基づいています。本会を繼續して設営・運営されました関係各機関、ならびにこれに応えて積極的に参加されました生産者の各位に対し敬意を表します。

審査結果

一、サイレージの種類

なお審査のために必要な化学分析と発酵品質の評価は岡山大学農学部家畜飼養学教室において実施し、技術審査は岡山県農林部畜産課および普及園芸科、岡山県畜産会ならびに岡山大学農学部の各専門家の参加する審査会で実施いたしました。

口によって調査されたもの（六点の計三七点）であります。これらのサイレージを生産農家の経営の種類別に分類しますと、乳用牛経営二〇点（約八〇%）、肉用牛経営七点（約二〇%）で、肉用牛用としてのサイレージの地位が年々高まってきてゐることが推定されます。

これらのサイレージを材料の草種別に整理してみると表一のようであります。

表2 出品サイレージの草種別

気密サイロ			普通サイロ		
草種	数	比率	草種	数	比率
トウモロコシ	13	61.9(%)	トウモロコシ	10	62.5(%)
イタリアンライグラス	6	28.6	イタリアンライグラス	2	12.5
ソルゴー	2	9.5	ソルゴー	3	18.8
			トウモロコシ +スードン	1	6.2
計	21	100	計	16	100

すなわち気密サイロによるサイレージではトウモロコシが二点の約六二%、イタリアンライグラス六点の約一九%、そしてソルガム二点(約一〇%)の順位になっています。いっぽう普通サイロによるサイレージの場合、トウモロコシが〇点で約六三%，ソルガム三点で約一九%，そしてイタリアンライグラスは二点で約一三%などとなっています。これらサイレージの草種別分布を例年のそれらに比べてみると、両サイレージとともに年々トウモロコシの割合が増加し、グラスなどによるサイレージの割合が減少していく傾向にあることが認められます。

そしてさらに材料草の単純化が進行しつつあることも推定されます。すなわちトウモロコシを中心として、高位生産の可能な長大飼料作物栽培が増大し定着していることがつかがわれます。しかしてこのことはサイレージの調製技術や利用技術に影響をおよぼすのみならず、サイロの型やサイレージ体系、さらに家畜の飼養体系にも変化をもたらしていくことが予想されます。いわゆるホールクロップサイレージ給与による高泌乳牛の生産性向上、これの濃厚飼料の代替による経済的肉牛生産などが、近い将来サイレージ生産利用上の重要な課題となるものと考えられます。

二 サイレージの品質

フリーケ法によつて分析し、評価した

表 3 品質審查結果

品 質		氣密サイロ		普通サイロ	
級	評 点	数	比 率	数	比 率
1	81—100	12	57.1 %	12	75.0 %
2	61—80	3	14.3	1	6.3
3	41—60	4	19.1	2	12.5
4	21—40	2	9.5	1	6.3
5	0—20	0	0	0	0
平均(最低—最高)点		79.5 (26—100)		86.4 (34—100)	

質向上が認められます。いっぽう普通サ
イロの場合についてみると、一級品一
点（七五%）、二級品一点（六%）、
三級品一点（一三%）、四級品一点（六
%）となっており、その平均は八六・四
点で、第六回の成績一級品七九%、一級
品一%、三級品五%、五級品五%、平
均八九点にほぼ匹敵する成績であります。
以上のように出品サイレージの発酵品質
は昨年のそれとほぼ同等であり、県ト
の畜産農家において、昨年に引継ぎ良質
サイレージが生産されたことが推定され
ます。昨年は一昨年と若干異なり、トウ
モロコシの収穫期に台風があるなど気象
的には良質材料の生産条件として必ずし
も有利ではなかったよう思われますが
昨年の共励会同様の成績を収めることができました。これは生産者の皆さんのが
天候に災いされ品質が極端に落込んだ三
年前の教訓を生かし、優れた調製技術を
もって材料の不良をカバーされた結果で
あると理解いたします。そして県トのサ
イレージ調製技術が高水準で、安定して
きたことを意味していると考えます。生
産者ならびに長年普及指導に当られた各
位のご尽力に対し敬意を表します。
いっぽう氣密サイロによるサイレージ
と普通サイロサイレージの品質平均点を
比較した場合、明らかに普通サイロによ
るもののが優れております。確かに両試料
材料ごとの比率、試料集収方法などに差

がありますので両者を直接比較すること無理があるかとも思いますが、ここ二三年の成績は常に同様の傾向を示していることは注目すべきことだと考えます。本紙上や其奨励会の席上で再三指摘しておりますように、サイロの性能はサイレージ調製上において大変重要な条件の一つであります。しかしその条件の整備だけが良質な製品が作られるわけではありません。材料生産から給与に至る諸々の条件が良質サイレージ調製に係わっているわけでありますから、それぞれの過程における条件を充足する技術と、それらを可能にする体系の組立てが良質製品を得るために要求されるわけであります。次項で述べます調製技術の調査結果で明らかにされていますように、氣密サイロ所有生産者の中には、これらの点を十分に認識されていない、または認識しても実践されていない方があるのではないかと思います。これらの皆さんには一度自分の調製技術の点検をおこない、改善のために努力されるよう希望いたします。

三、調製技術

サイレージの調製技術の審査結果について、それぞれ大要を示すと表四のようあります。

表 4 調製技術審查結果

基 準			氣密 サイロ			普通 サイロ		
項目	段階	配 点	数	比 率	平均点	数	比 率	平均点
処理水 分	A	25	4	19 %	18.1	6	38 %	18.8
	B	20	11	52		5	31	
	C	10	6	29		5	31	
	D	5	0	0		0	0	
	A	25	10	48	18.9	10	63	21.4
	B	20	7	33		5	31	
	C	10	4	19		0	0	
	D	5	0	0		1	6	
材料刈 取	A	25	2	10	17.2	1	6	16.0
	B	20	15	71		9	56	
	C	10	4	19		5	31	
	D	5	0	0		1	6	
	A	25	3	14	14.7	2	13	14.7
	B	20	12	57		9	56	
	C	10	5	24		4	25	
	D	5	1	5		1	6	

貴社の努力のあとどうか見えます。いっぽう材料生産に関する項、すなわち刈取時期およびその品質は全てB段階を中心と分布しております。そして第八回の成績と対比した場合、いずれも一と二点下回る結果であります。材料草の収穫期の不適切ならびに品質不良の原因は、昨夏の台風による影響など気象によるものが大きいものと考えられます。

以上のように今回の調製技術を前回のそれらと対比した場合、材料の処理技術において向上し、生産の分野で下降したことになります。すなわち気象的に恵まれなかつたこともあって材料生産は必ずしも順調でなかつたが、これを処理技術でもつて克服し、ほぼ前回並みのサイレージが調製されたことになります。このことは本県のサイレージ生産技術が、ようやく安定期に、しかも高い水準で安定期に入たことを実証しているものと思ひます。各位のご努力に対し敬意を表す

細切とその効果 前項において記しましたように、本共励会において審査の対象としましたサイレージ調整技術の中で、近時目立つて改善され、安定してきた項目は細切技術であります。このことは良質サイレージを安定的に生産する上で重要な役割を果していると思われます。

野草の活用技術

和牛試驗場
白石太郎

牛の飼料といえば、すなわち飼料作物あるいは牧草類と考えられ、稻わらは貴重物扱いされても、野草はあまりかえりみられないことが多い。

価値もあまり高くない。それに加えて一部のものを除き、栽培利用技術も確立され、おらず集約的な生産には適していない。野草地の生産量は多いところでも年間一〇a当たり一、〇〇〇kg程度であり、牛の残食部分を差引くとさらに少なくななる。牛を一頭放牧するのに牧草地であれば、三〇~四〇aあればよいのに、野草地ならば一ha以上を必要とする。再生力が弱いから、ひんぱんに利用すると生産量は年々低下し、さらに広い面積を必要とするようになる。

このようなことから、古来の野草利用の慣習はほとんどされ、県の中北部地帯に拡がっていた牧野も、大半は草地改良され野草地となり、一部は造林地となり、その他は放棄され雑木林地となつて

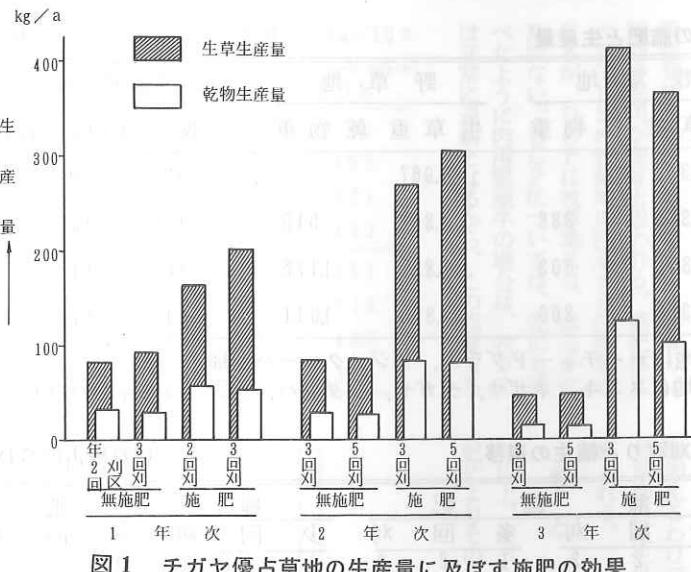


図1 チガヤ優占草地の生産量に及ぼす施肥の効果

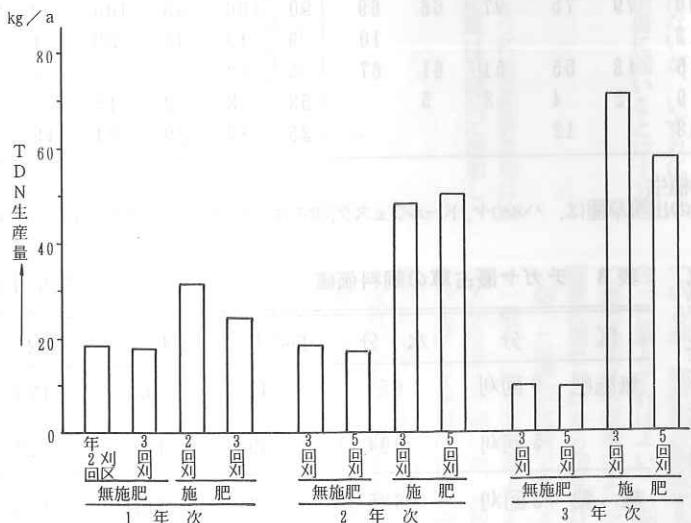


図2 チガヤ優占草地のTDN生産量

注 年間施肥量 kg /10 a

比較的飼料価値の高い畠畔草の畠畔の清掃を兼ねた利用、あるいは山間部に残っている牛の飼料と堆肥生産をかねた山畠刈の慣習である。

肉用繁殖牛による積極的な山地放牧がもくろまれているが、よほど面積にゆとりがないと、植生の劣化と牧養力の低下はまぬがれない。

ある野草混牧林地の調査結果では、^{ムカシ}当たりの牧養力は一年目六八CD（カウドイン）二年目六一CDであったが、三年目は三〇CDと大巾に減少している。

こういった反面極端な微細切は、いわゆる粗飼料因子の消滅をきたし、障害の原因になるとする見解が示されています。それらの限界あるいは妥協点については今後の研究結果を待たなければなりません。しかし正常な飼養管理がおこなわれている場合、筆者が基準で示した一センチメートル前後の切断長によって障害が発生することは無いと考えられます。細切技術の維持向上のため今後も努力していただきたいと希望します。

A black and white sketch of a rural scene. In the center, there is a small hut with a thatched roof. To the left of the hut, a horse is grazing. To the right, a cow is also grazing. In the foreground, there is a fence made of sticks or branches. The background shows some hills or mountains under a clear sky.

ついて若干まとめてみたいと存じます。材料を細切することの意義は、まず第一にサイレージの品質向上ということであります。すなわち細切することによって埋藏密度が高くなつて空氣の排除が進み嫌気的条件が作られること、さらに草の中に含まれている糖分を含む汁液が滲出やすくなると共に、乳酸菌付着可能な面積が大となることなど乳酸発酵のための条件作りができる。第二の効果はサイロの有効利用という点であります。細切することにより、田園地帯の開墾地などを

意味を持っているといわれています。この点については近時多くの研究がおこなわれ沢山の報告が出されています。その中から最大公約数的な結果を拾い出してみると、グラス類の場合、細切によってサイレージの品質は改善されること、消化率に大きな変動はないこと、そして家畜に自由採食させた場合も切断長が細かいほど採食量が多くなることが示されております。いっぽうトウモロコシの場合には切断長がある程度細かいほど消化率が向上する傾向にあること、第一胃より

おわりに
以上今回のサイレージ共励会の審査結果、これに関連した若干の事項について述べましたが、成績は昨年の第六回に引き続き良好であり、垦トのサイレージの品質ならばにその調整技術が高い水準で安定してきていることが実証されました。今後も初心を忘ることなく良質サイレージ生産利用のために取組んでいただきたいことを切望いたします。

おわりに



紹介し参考に供したいと思います。

施肥と生産量

チガヤ草地に対する施肥の効果は、図一にみられるように、一年次、二年次と年次を追うにしたがい飛躍的に増大し、三年目で最大に達することは、表一の長草型草地（ススキ、ネザサ、チガヤその他混生）に対する施肥の効果をみても推定される。

表一の乾物生産量は、三年目には牧草地の生産量を凌駕している。シバなど短草型草地の場合も施肥による増収効果がみられるが、長草型草地ほどの多収には至らないものと思われる。

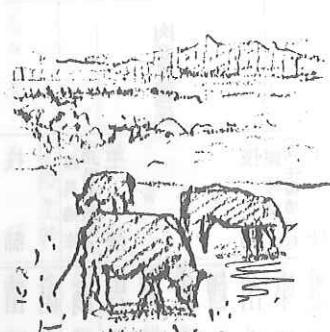
一方、長草型草地を無肥料で年一回以上利用を繰り返すと、その生産量は漸減する。

施肥・刈取りと植生の遷移

チガヤ草地を無肥料で利用を繰り返すとチガヤの草丈は漸次低くなり、草生は衰退する。地表面の受光勢が良くなると短草型のシバが優占し、生産量低下につながる。ところが、施肥をすればチガヤの再生力が高まるので、刈取回数を増加してもチガヤの植生は維持される。

施肥と飼料成分

表二は、図一で示したチガヤ主体の草の飼料成分を示したものであり、表四は表一で示した牧草地と野草地の飼料成分



表四の野草地と牧草地についてジャージー種搾乳牛を供試して飼料価値を確認した結果、産乳性についても、単位面積当たりの乳脂肪生産量からみても両者に差はみられない。

区分	年次	生草中%		
		D C P	T D N	N R
牧草地	2	2.7	1.29	3.8
	3	2.0	0.94	3.7
	4	2.0	0.98	3.9
	平均	2.3	1.07	3.7
野草地	2	1.3	1.35	9.4
	3	1.3	1.18	8.1
	4	1.3	1.12	7.6
	平均	1.3	1.19	8.2

注 表1に示した草地

表5 牧草地と野草地の栄養生産量 kg/10a

区分	年次	施肥と栄養生産量	
		D C P	T D N
牧草地	2	118	563
	3	86	405
	4	106	521
	計	311	1,490
野草地	2	24	251
	3	64	578
	4	57	489
	計	145	1,318

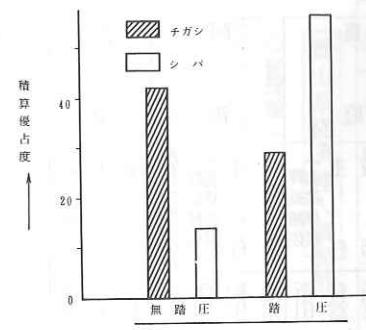


図3 踏圧によるチガヤ優占草地の植生の変化(SDR₂)

図一は、図一で示したチガヤ優占草地のT D N 生産量を示したものであり、表五は表一で示した牧草地と野草地のD C P、T D N 生産量を示したものである。施肥をすることによって乾物の生産量が増加したと同様に、栄養生産量も増加するが、多回刈をする減収となる。長草型草地の場合、施肥をしても年間二三四回の利用が限度と思われる。施肥によってT D N は牧草地に匹敵する生産量となるが、D C P は牧草地にははるかに及ばない。D C Pについては、先にも述べたように肉用繁殖牛の場合、牧草では非常に過剰となるから、この程度でち

よどバランスが取れているのである。
植生と踏圧
チガヤ主体の草地について、その生育期間中毎日一回靴で踏圧を加え、植生の変化をみたのが図三である。踏圧によってチガヤなど長草型の植生は衰退し、シバが優占し、草地の生産量は激減した。実際の放牧では、牛は全面均一に蹄傷を加えるわけではないが、いずれにせよ長草型の植生は蹄傷に弱いことは十分推察される。

まとめ

以上述べたように長草型野草地は施肥によりその生産量は飛躍的に増加し、

ようどバランスが取れているのである。

つて低下する傾向にある。栄養率は施肥によって狭くなる。しかし、牧草に比べると非常に広いことがわかる。肉用繁殖牛に適する栄養率は一〇~一二であるから

区分	施肥			施肥			施肥		
	少	回	刈	少	回	刈	少	回	刈
	1	2	3	1	2	3	1	2	3
チガヤ	100	79	75	97	66	69	90	100	95
オーチャード	13						10	9	13
バ	25	48	55	51	61	67	5	12	35
シネ	9	2	4	8	5		53	8	43
ネス	18		12				25	32	29
							21	15	22

注 1. 8月の植生
2. その他の出現草種は、ハレカヤ、トールフェスク、ヨモギ、アレチノギク、タチツボスミレ他34種

一般に、野草類は牧草類よりも保全機能が高いので、傾斜地を開発する場合は、山地の保全の観点からも、優良野草類は保存し、積極的に活用することが望まれる。

一般に、短草型野草よりも長草型野草の方が生産力が高いため、長草型の野草類はひんぱんな利用には適していない。休牧の期間を設けることが必要である。放牧中に優良植物が衰退し、裸地が発生したら、その時点で牧草を追播して混踏圧には弱い、むしろ採草向きである。

ここに載せた成績では、いずれも窒素成分で10a当たり約10kgの施肥をしているが、施肥量は期待する牧草として生産力を高めることにより利用度を高めても植生の維持が図られる。

ここに載せた成績では、いずれも窒素成分で10a当たり約10kgの施肥をしているが、施肥量は期待する牧草として生産力を高めることにより利用度を高めても牛は便の状態も良好で、牛の生理にも適しているといえる。

表3 チガヤ優占草の飼料価値 生草中%

区分	水 分	D C P	T D N	N R
無施肥	3回刈	65.1	1.1	21.2
	5回刈	69.4	0.9	16.2
施肥	3回刈	68.5	1.0	17.1
	5回刈	70.2	1.0	16.2
				14.6

岡山県庁人事異動

県畜産課

畜政室 経営対策班		畜産課		畜産課		畜産課		畜産課		畜産課		畜産課		畜産課	
畜産公向		衛生環境係		肉畜養鶏係		酪農草地係		畜産課		畜産課		畜産課		畜産課	
主幹	技師	主幹	技師	主幹	技師	主幹	技師	主幹	技師	主幹	技師	主幹	技師	主幹	技師
" "	" "	(衛生環境係長補佐)	" "	(肉畜養鶏係長補佐)	" "	(酪農草地係長)	" "	(畜産課長代理)	" "						
池田勉	百野勇	山本一朗	加藤信介	井上吏	山下稳	唐木文男	金山茂樹	樋口義男	山形幹夫	神原啓	山口公士	寺岡敏昭	谷田重遠	柴田坂尾	難波圭次
														赤木	岩井
														奥真一	三宅澄治
														内藤康	高橋亨
														南葉幸雄	広畑亨

參 考

卷之三

卷之三

養鷄試驗場

卸食
壳肉
市地
場方

和牛試驗場

酪農試驗場

業務課長	場	技	研	場	特別研究員	場	技	研	場	專門研究員	酪農部長	總務課長
業務課長	務	研	究	務	研究員	務	研	究	務	研究員	農部長	總務課長
	務	研	究	務	研究員	務	研	究	務	研究員	農部長	總務課長
岡崎	難波	馬場	平本	中村	小田	小椋	川西	山本	溝口	片寄	木本	疇地
義彦	善次	克之	圭二	行雄	頼正	弘雅	昭二	洋	太郎	功	肇	片山

◇ 退職者	畜 畜部 次長 ミートセンター長 高梁主管 畜産課長	和 氣 弘 松浦昌徳 武並昭一	仲井京子 島越道弘 大橋範匡	（同） 畜産課 （畜産資材課）
△ 中途退職	未沢靖史	58年3月1日付	中 申出	（同） 畜産課 （畜産課）
△ 総合課主管	高梁主管 畜産課	中 申出	（同） 畜産課 （畜産課）	（同） 畜産課 （畜産課）
△ 諸課主管	高梁主管 畜産課	中 申出	（同） 畜産課 （畜産課）	（同） 畜産課 （畜産課）

勝英	津山	真庭	阿新	高梁
大勝 原央	第二班 久米南	第一班 奥津茂	第二班 第三班	八束
第二班 央班	第一班 南津	第一班 茂	第二班 第二班	第一班 第二班
技主 師幹	主主主 任任任	技主 師任	技主 師任	技主 師任
林安東 弘明	岡田安藤 莊爾完治	富田高田勇一郎 谷名辰雄	清水長尾伸一郎 稔統	森本利正 竹内敏和久
				片山勇 三宅清啓介
				太谷燒尾 山口昭二
				安永晃示 田中勝行

ミニ一仕様

型式	A S		
	5	8	10
実容量 (m ³)	5	8	10
直 径 (m)	2.10	2.31	2.31
有効高さ (m)	2.20	2.46	3.07
全 高 (m)	2.69	2.86	3.46
W (kg)	200	250	270
パネル 段数	一体成形		

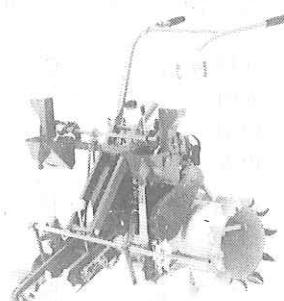
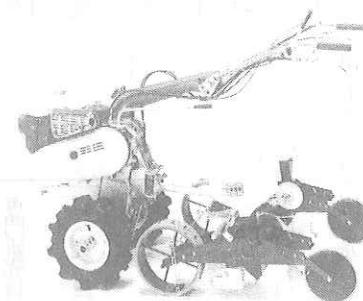
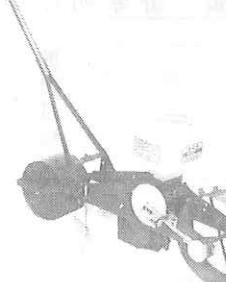
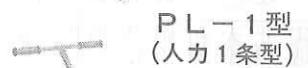
注) ミニーは水で密閉しています
ので、貯水溝には水を切らさ
ないようにしてください。



本社 広島支店 広島市中区八丁堀15番10号(セントラルビル) 電話(0822)21-8111(代)

手早く、能率UP…みのるコーン専用播種機

- コーン播種は勿論、簡単な日皿の交換で、大豆・ソルゴー・麦にも使用出来ます。
 - 溝切、播種、覆土、鎮圧の4作業が1工程でおこなえます。
 - 溝切、覆土装置がディスク（円板）方式ですので、根、茎、雑草などの夾雜物に関係なく、スムーズに播種作業ができます。
 - 種子繰出しが、傾斜回転日皿方式で、強制落下を行いますので、適確な繰出しができ、しかも種子の落ち具合を確認しながらの作業ができます。また、粉衣種子でも、精度よく、種子を傷めず繰出します。



みのる産業株式会社

本社工場 〒709-08 岡山県赤磐郡山陽町下市447
(山陽)08695-55224 FAX(08695)5-5520

P1-2型

(ティラニアタッチ？条型)

PR-2 | 刑

（動力直用？多型）

●畜産技術・経営のめやすに

畜産経営計画・設計指標シリーズのご利用

草地型酪農経営	(1,300円 〒 300円)	養豚肥育専門経営	(1,300円 〒 250円)
耕地型酪農経営	(1,100円 〒 300円)	養豚一貫経営	(1,500円 〒 300円)
流通飼料依存型酪農経営	(1,500円 〒 300円)	養鶏採卵専門経営	(1,000円 〒 250円)
乳用去勢牛哺育・育成経営	(1,000円 〒 250円)	養鶏育成専門・採卵一貫経営	
乳用去勢牛肥育経営	(1,000円 〒 250円)		(1,600円 〒 300円)
肉専用牛繁殖経営	(1,000円 〒 300円)	養鶏ブロイラー経営	(1,300円 〒 300円)
肉専用牛肥育経営	(1,300円 〒 250円)		
養豚繁殖経営	(1,000円 〒 250円)	お申込みは岡山県畜産会まで	

お申込みは岡山県畜産会まで

春は人事異動の季節です。いろいろな職場のいろいろな方が、東へ西へ南へ北へと異動され、そのせいか引越しの車がよく目にきます。

畜産関係と例外ではなく、日頃お世話になった方々の異動のニュースを耳にします。新年度を新しい環境で迎えられるみなさんのご活躍を心よりお祈りしています。

さて、畜産便りも新年度を迎え、先日一年の計をたてるため、編集委員会議を開催しました。こちらの編集スタッフは人事異動なしですが、新鮮な気持ちで一年間頑張りたいと思っております。皆様方のご協力をよろしくお願いします。

あ
と
が
ま